（七日夕刊）

休刊 大祭日 第一 第三日曜

定價 一部 二錢 郵税 一ケ月 六十錢 十五錢

廣告料 登行六十錢 指定廿錢 特

岩井愛藏 福島縣平町田町十六番地 磐城新聞社 電話五六四番

覺醒せよ昭和の青年よ（終）

大和田豐吉

次は体格　強健であります。虚弱では身長胸圍が劣る者は身長胸圍が劣る者は身長胸圍が劣る者は

平町の家調選擧妥協は 結局成立難

けふ午後最後的の交渉會 或は候補者の亂立

平町家調選擧の町會各派交渉會は六日午後七時より町役場に開かれたが或る一部派より延期の希望申出であつた爲め保留となり今七日午後一時より元商業學校内の會議室に會合愈々最後的妥協人選の審議を進めることとなつたが野崎氏系の同志會では此の妥協の決定を奏たす既に届出をなしたことは協調を裏切る非紳士的行爲であるとなし萩原氏等の同志會が甚だしく憤慨し居るものゝ如く傳され之れ

長小次郎の三氏にして尚ほ各派代表委員の持ち寄つた顔振れは

（立町）荒川淺次郎（南町）河田梅吉又は齋藤寅吉（才槌小路）熊澤文太郎又は綠川喜三郎（紺屋町）吉田寅之助（鐵道以北）堀井正義（城山）青沼鋒太郎（白銀町）松永友太郎（田町）野崎藤造（久保町）會川延太郎（八幡小路）鍋田三重（鎌田）鈴木光吉

等の諸氏にして既に届出をなした三氏の外更らに一、二、四、五丁目よりも各一名づつの顔が揃へば少くとも二十名位に達すべく各派交渉會が圓滿に進行させる限り競爭は免れぬ模樣である

會の審議をまとめる順序だがこの第二次會の委員は人口二萬人以下は一町一名づゝ、二萬人以上は二名づゝ選任され

これは六月下旬頃に開きまた三四日中に協定をなし知事の手許に送達され知事の決議によつて初めて

知事の課税標準としての固定資産の賃貸價格が初めて確定するのだ、なほ右第二次調査員會は知事の指定した際

堺吏員が議長となつて議せられる筈である

第一次委員會は 六月上旬に開く

會期は二日乃至四日間 石城郡下の三百名

石城郡下より選出される家屋税調査委員は二百六十一名であるがこの第一次の調査員會は六月上旬各町村において一齊に開かれあらかじめ調査した家屋個々についての賃貸價格原案を町村

長から提示し、町村長を議長として審議されるが、審議は二日乃至四日位で終る見込み

更にその決定案を原案として郡單位の對町村均衡を計るための第二調査員

植田納税組員 牡丹見物

自動車で須賀川へ

石城郡植田町には現在二十二の納税組合があり夫成績を擧げて居るが豈町長は猶納税成績の完璧期せんが爲め未設町内に對しその設置を勸説しつゝあり今や各町内に納税組合の設置を見んとして居るが、既設組合中大字植田の上方部を中心とする植田納税組合はその創立最も古く明治四十四年に設置され現在五十五名の組合員あり成績最も顯著であるが町より交附される納税奬勵金の積立基本金既に千圓に及んでゐる、しかして現在の組合員は

は弊害生じ易き爲め一昨年初めて組合員全部の遊覽旅行をなし成田より鹿島香取參宮をなしたが今回第二回旅行として來る十二日午前

六時出發十數臺の自動車をつらねて須賀川町の牡丹園見物をなし長驅して白河の南湖公園に遊び夕刻歸町の豫定

正七位の運轉手 六十圓を詐欺

湯本町の床屋を騙す 實は中川鎭平

北海道天鹽國苫前郡天賀村生れ當時住所不定無職前科四犯中津川鎭平（三六）は去る二月十五日頃石城郡湯本町字三函理髮業伊藤繁方を訪れ「自分は郵船會社椿名丸の一等運轉手正七位林三郎だが愛妻が家出したので捜査に來た」君の技術が優秀だと言ふから椿名丸乘組の理髮員に採用すると稱し旅費六十餘圓を横領して逃走行方を晦ましたので平署で各地に手配捜査してゐたが三日北海道小樽署の爲めに逮捕された

梅崎氏謝恩

盲生記念品を贈る

平町弊城訓盲院主事梅崎安二郎氏は在職滿二十年に達したので同院同窓會主催のもとに五日午前十時より謝恩を兼ねた祝賀會を開いたが卒業生約六十餘名の出席あり記念品を贈つた

酒樽で溺死

唯ちやんの危禍

石城郡植田町大字石畑農義郡三郎島木唯愛（四）は五日午後一時半頃自宅前を遊戯中酒樽に水を一杯入れてあつた中にはまり溺死した

木賃宿で賭博 石城郡植田町大字石畑農義郡三郎遠野村木賃宿三浦長吉ほか五名は五日午後二時頃仙臺市に於て結局五月に入れば再び慘落するものと一般の觀側で

言葉の威力

鮮人へヘイ——

平町月見町に居住する朝鮮人羅南道生れ土工林良（三〇）はとかく酒癖が悪く二、三日前にも狂亂し限りを盡したので平署へ檢束した翌朝鯨岡次席が「今度は許しやるが再び亂暴すると監獄へ入れるぞ」と厳訓した處、全く馬耳東風なので、さすがの次席もぼう然たるばかり。それを見た大賀朝鮮係「チヤネ、ナツブン、イリ、ハチマラ、イタメクロンエリ、パイコドンカンゴクソ、イボネンダ」とじゆ文めいた事をいふと、飛上らん許り驚いて「ヘイ——」

植田は 妥協成立

無競爭裡に 家調選擧執行

植田町家調委員選出割合は就ては五日政友派より會期

（三六）外五名が車座となり現金かけの賭博開帳中を植田署員が發見一網打盡に檢擧された

熊次、大平菊藏民政派より小川福太郎、佐藤松之助の四町議驚町長宅に會同協議の結果政友四名民政五名を立たしめ無競爭裡に終らしむる事となし今七日午後二時より伊勢屋に於て各區より問題の候補者を持寄り各町議及び町議なき部落は夫々代表者出席顔振れを決定した

石城米奔騰

八斗廿圓を突破

石城郡地方の米價は昨秋以來下落をたどり三月中旬に一駄十八圓五十錢それでも買手がないといふ年來の安値を唱へられたが四月に入つてから幾分持ち直し下旬には一駄で五十錢高の九圓に回復したしかしこの相場はいはゆる商人連の思惑買の結果一時的に高値の氣配を示したものであつたが中央市場の高値に刺戟されて豫想は無事裏切られ俄然相場はどん〳〵拍子に高値を唱へて六日平町の某米穀商は一駄二十圓臺を突破した値段で取引したこの程狂騰相場について米檢平支所員は語る

石城地方米價が俄かに高値の氣配を示した原因は要するに毎日の定期相場が高値を示しつゝある結果と見られるがしかし毎年の統計によつて見ると五月ごろから最夏にかけて回復期にあるからこんどの相場は同朋的のものと見て差支へなからう

餘屋の太鼓を聞く

世智辛らい世の動き

平地方のみではないが見世の中が不景氣になつて世智辛くなつてくると當り前の事では暮らされなくなり、その結果兎角インチキなことをして人の注目を惹こうとするやうになる、その著しいのは勿論商賣の宣傳の上に見る所だがこれもその一つ近頃の餘屋なるものは昔のやうに昔と云つてもそんなに遠い昔じやないつい數年前のやうな穏やかな所がなくなつて頗る物騒がしいものになつてしまつた

以前は町から町を流して歩くにしても彼等特有の風俗があり、その歌詞にも卑猥はあるが一種の情調があり、それは餘賣唄なるものは決つてゐたし叩く太鼓なり吹く笛にも別種なものを持つて決して騒々しい神經を苛ら立たせるやうなものではなかつた、ところがいまの餘屋はその仕度も千差萬別得物もさまざまゴム靴チャンチャンコにわらぢ穿き着流しに角帶兵帶服にすげ笠、太太鼓に小太鼓、ドラに鉦三味線、八木節に鴨綠江イヤその騒々しいこと、たまけに腦天の尖端から吹き出すやうな音に至つては物狂はしい叫びのやうなものとてもちつとしてゐられる代物は少い

餘はしやぶるもので唄を聞くものじやない唄はおまけの景品かも知よせだとへばそれまでだが、こゝにねゝ、聞くも世、尖鋭で脆い、幼稚園療養中のところ六日午かんべんならんのは大の男兒に取つては餘屋の太鼓は最も大敵、非常に悪い影響を神經に及ぼすやつと外で遊ぶやうになつた子などは昂奮の結果夜中に恐風を起す、餘兵よ、眠つてゐる子供を太鼓で叩き起してまでも餘を買はせなければならぬものでもなければ、もう少し穏かに叩いてくれ眠りたい子にはよき伴奏となつて（草野瞬雄）

特別議會のぞ記

各大臣の答辯ぶり

東京にて 吉田生

濱口首相

議會での各大臣の答辯振は何どれ一つとても首相が超然鷄蹴の一句だがあゝ何も很答辯の回避しては議會政治の破壞である、聲量もあり態度も立派だし一國の宰相としての貫禄は充分たが無愛想無表情で演説に柳楊がないのが珠に瑕である

内相安達謙藏君

答辯振りは恰度に婆あさんが寒さにかぢけた形ちで、選擧では神樣でも議會へ出ては嘉なしである、猫背、姿勢は悪し、細い黄色い聲で「選擧干渉は絶對に致しません」といふ邊り一向大臣臭くない、だが流石に神臣臭くない、だが流石に神樣と はれるだけに温順しさうに見える腹の底には何か一物を蔵してゐさうな油斷のならぬたぬき爺さんと見わる。

藏相井上君

答辯振りはまづ七十點見當時々冷靜を缺いては逆襲の絶園を越して暗嘩腰に出るのは大人氣なし、大臣席で頬杖をついて「井上行儀が悪い」「頬杖を取れ」などゝ叱られる程人を食つた態度が宗障だが兎に角濱口内閣の立役者で一期議會では相當奮闘してゐる。

商相俵孫一君

産業合理化でかなりいじめられた組、大臣として現内閣の一番精だ、本會議で野党に野次られると逆上して答辯の築園から脱線し廿分以上も樣々まくし立てるなぞ與降もほとゝ持て餘した

幣原外相

ヅラリ大臣席に並んだところでは首相と伍して態度もよし行儀もよい、流石は外交畑で育つただけのものは有る、今期議會の答辯に別に大臣らしいところは非上君も凡人位なものか。

法相渡邊千冬子

人物や風彩は兎もかくとして、今期議會の質問も一向繁昌せず批評の程度に達してゐるか、議會でも答辯振りさせられる、まるで蛸だ双手を付いて首と身體に絶叫を付いて「へイ」

平氷商組合

値下げ問題協議

平町氷商組合總會は來る八日午前九時より平町有楽座に於て開催されるが今年値下げ問題が主なものだが

懲兵檢査を忌み 青年毒を嚥む

大浦村生れの倉田稔 生命覺束なし

石城郡大浦村狐塚生れ宮城縣刈田郡白石町柳村琴次郎養子倉田稔（二二）は本年二月に至り苦悶を初め大驚ぎから名取町東北電業銀行に雇はれ汽車で通勤中四月三十日夜行衛不明になつたので捜査中市内仲の町九一番地の自宅に潜伏中を發見し四日午後一時半ころ家族が伴れ戻るため仙臺驛待合室で休憩中酒樽に水を一杯入れてあつた中にはまり溺死した

木賃宿で賭博 石城郡遠野村木賃宿三浦長吉ほか五名は五日午後二時頃仙臺市に於て結局五月に入れば再び慘落するものと一般の觀側で

時言

家調選擧を前の切角の各派交渉會、成立どうやら見込み薄

□

つり合はざるは不緣のもと、出來ないのが當り前で出來たらた慰みだ

□

末開不見の正七位に馬鹿された床屋、時節柄六十圓の痴事

□

あんまり氣の毒さが通り越して、同情も出來やーない

□

石城米奔騰

□

敢て驚ろくに足らぬ、農民春夏秋冬、汗の價が一升値か二十五錢

久遠の紅戀

助演……小櫻葉子　奈良眞發　林千歳

戀人をモデルとして完成し得なかつた生涯の大作を新たにその娘をモデルとして遂に完成する、その間に涙ぐましい父性愛が現はれてゐます。

ユニヴアーサル・カール・レムレエ提供
原作小カール・レムレエ氏
ジヨージ・ルイズ氏主演

第四 大學生活

第壹篇…（球押競技）第二篇…（女子部籠球戰）

日活超々大作映畫　原作…八尋　諒
澤田　清　櫻井京子……主演

千丈の紅戀

助演……川上孤生　高瀬　實　實川延一郎
宗三郎……に道　憧れの江戸へ出たが、犬公の時政時代の暴政に苦しみ、し　曼陀羅に柳と云ふ盗の出現に物語りは興味を添へて行きます

來週上映
大河内傳次郎 劍を越えて

高級常設 平館 電四六六

餘屋の太鼓を聞く

五月八日晩り 料金普通

松竹現代派大作品　原作…加藤武雄
婦人倶樂部所載　岩田祐吉　八雲恵美子……主演

久遠の像

助演……小櫻葉子　奈良眞發　林千歳

戀人をモデルとして完成し得なかつた生涯の大作を新たにその娘をモデルとして遂に完成する、その間に涙ぐましい父性愛が現はれてゐます。

大學生活

日活。松竹。ユニヴアーサル合讃

コロンビアレコード

鈴木傳明　田中絹代　吹込

△進軍　軍

△進軍の唄

斷然レコード界を リードせる好吹込

發賣

各會社レコード新譜取揃

平壹 蓄盤屋時計店 電三三九

肺結核、肋膜炎、感冒咳嗽に
肺炎カタル、氣管支喘息に
高速度特効藥
ホシアンチツベルケン
大 五圓　二五日分
中 三圓　十二日分
小 一圓五十錢　五日分
淋病淤渇にホシゴノール
全價一圓　三圓　一圓六十錢　一圓電
平町二丁目（郵便局隣）
ホシチエーンストア
電話四二九番

磐女旅行通信

第二信　京都にて

辨慶樓の安らけき一夜の褥に旅の疲れを癒した私達はにだやかに晴れた天候の下を京都の第二日目を見學すべく出發致しました。

先づ私達はスタートを伏見桃山の御陵參拜に向けました、あの偉大なる祖父母陛下の遺業を忍び奉りつゝ參拜を終へ勇ましい軍人の足取にも似た元氣な私達の足取は更に乃木神社の參拜をすまして三十三間堂に向ひました。あの數多くの佛像を豪壯な御堂に驚異の眼を見張ながら其處を出て清水寺へと急ぎました、御寺の壯大なる樣子を眼前に見て私達は昼食を取りましたそれより電車にて私達の期待せる嵐山に向ひました。

桂川の美しい流れに漂はせボートの群の競つかを眺めながら暫く休み更に電車にて引返し天龍宮を參拜し進んで金閣寺を參拜致しました、豪奢の遺業を思ひ出しながら金閣寺を拜觀をすまして午後五時再び辨慶樓を向ひ一夜の憩を求めました

次男峯雄儀

病氣の處本月六日午後八時四十分死去仕り候間此段御通知申上候

追而葬送の儀は五月八日午後三時自宅出棺良善寺に於て佛式により執行仕る可候

昭和五年五月六日

平町字古鍛冶町
水野家の不幸　平町
古鍛冶町磐城炭礦事務部長
水野虎三郎氏次男峯雄氏は

水野虎三郎
親戚一同